

ダイヤモンド就活ナビ2020 就職モニターレポート12月調査

【調査概要】

- ◆調査対象 2020年3月卒業予定の大学院生・大学生
- ◆有効回答 819名
- ◆調査期間 2018年11月30日（金）～2018年12月7日（金）
- ◆調査方法 WEB入力フォームより回答

【回答学生の内訳】

文系	理系
605名 (73.9%)	214名 (26.1%)

【回答の多かった学生】

早稲田大学、明治大学、中央大学
関西学院大学、日本大学、立教大学
専修大学、青山学院大学、國學院大學
東京大学、慶應義塾大学、関西大学
上智大学、東洋大学、近畿大学

【大学エリア別回答学生数】

北海道	56	6.8%
東北エリア	22	2.7%
関東エリア	478	58.4%
甲信越エリア	16	2.0%
東海・北陸エリア	32	3.9%
関西エリア	156	19.0%
中・四圏エリア	48	5.9%
九州・沖縄エリア	11	1.3%
総計	819	100.0%

◆TOPICS◆

<インターンシップ参加状況>

インターンシップ参加率は76.1%。昨年より6.3ポイント増。
参加理由は「就活に有利だと思った」「志望企業だった」が過半数を超える。

<インターンシップ選考状況>

インターンシップ参加の選考経験者は66.7%
選考の内容は「エントリーシート」が9割を占める。

<インターンシップ参加社数、参加日数>

平均参加社数は3.13社（昨年比+0.41社）。
複数回参加者は76.2%。昨年より9.6ポイント増。1社のみは少数派に。

<就職活動観>

インターンシップ参加した企業への志望度について、70.5%が「上がった」と回答。
8割が志望業界は「明確に決まっている」「なんとなく決まっている」。
学生売り手市場と言われるも、就職活動に対し「苦戦するかも」「悲観的」が多数。

【本調査に関するお問い合わせ】

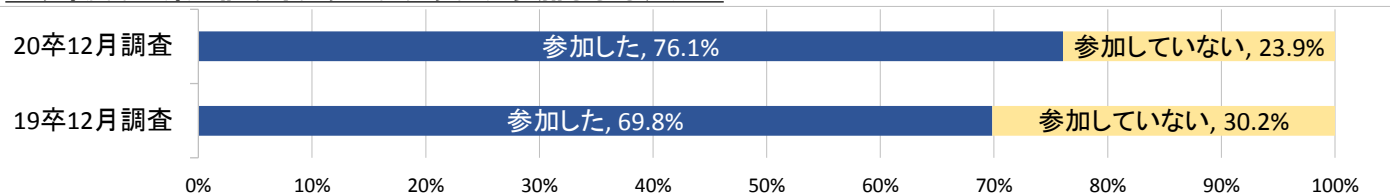


株式会社
ダイヤモンド・ヒューマンリソース

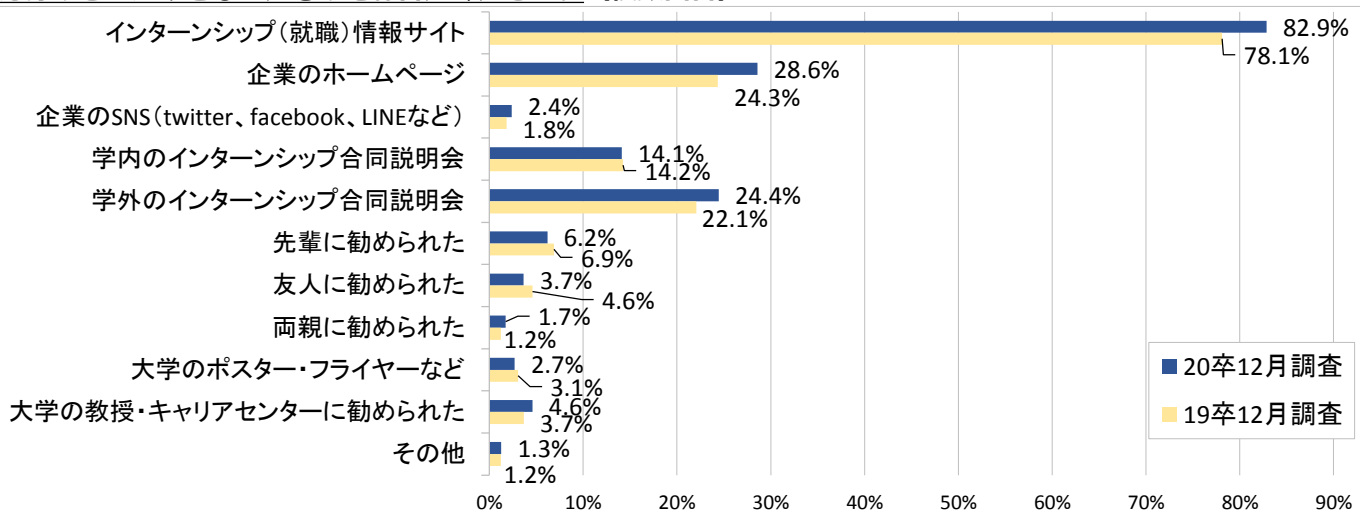
新卒メディア事業局 首都圏営業部
TEL : 03-5319-2452
E-mail : marketing@diamondhr.co.jp

インターンシップ参加状況

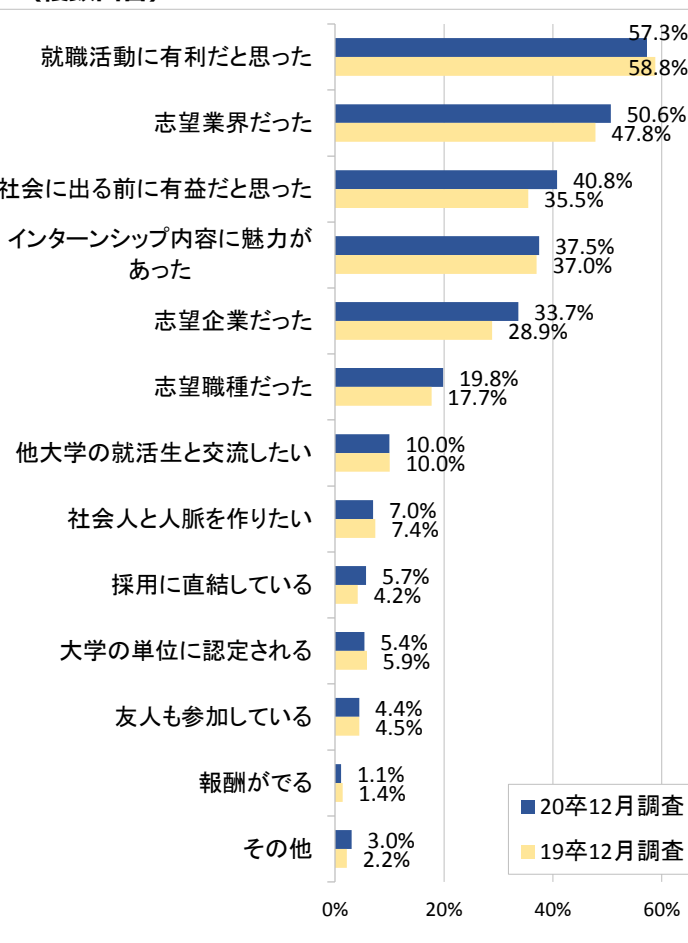
◆今年度の企業主催のインターンシップに参加しましたか？



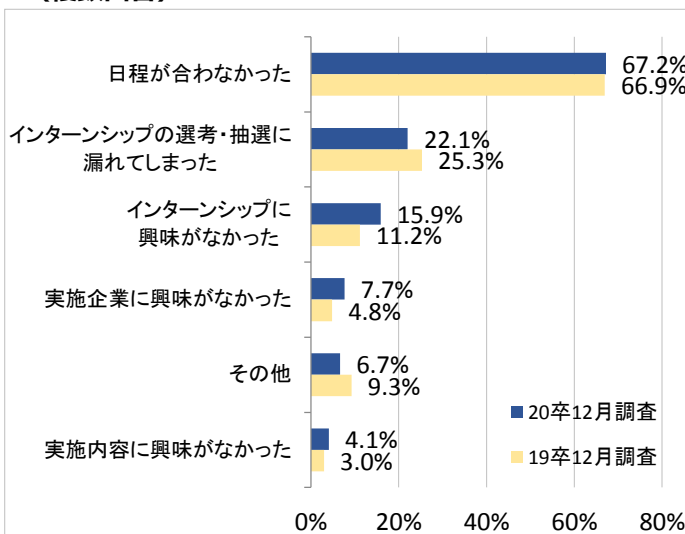
◆応募のきっかけとなったものをお答えください。（複数回答）



◆インターンシップに参加した理由は何ですか？（複数回答）



◆インターンシップに参加していない理由は何ですか？（複数回答）



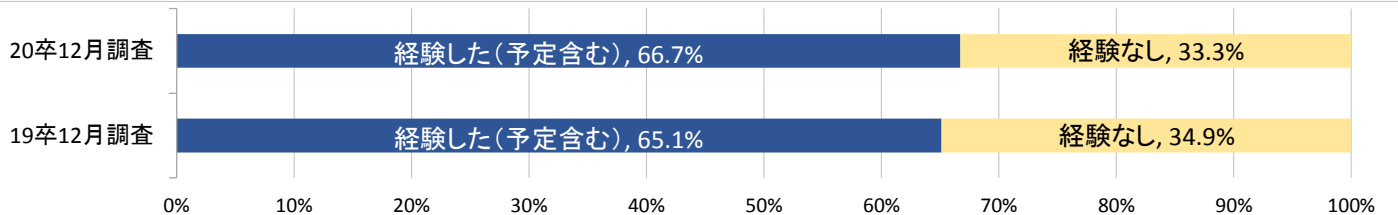
インターンシップ参加率は76.1% 参加理由は「就活に有利」「志望企業」が過半数超え

インターンシップへの参加状況は、「参加した」が76.1%と7割を超え、昨年より6.3ポイント伸ばした。

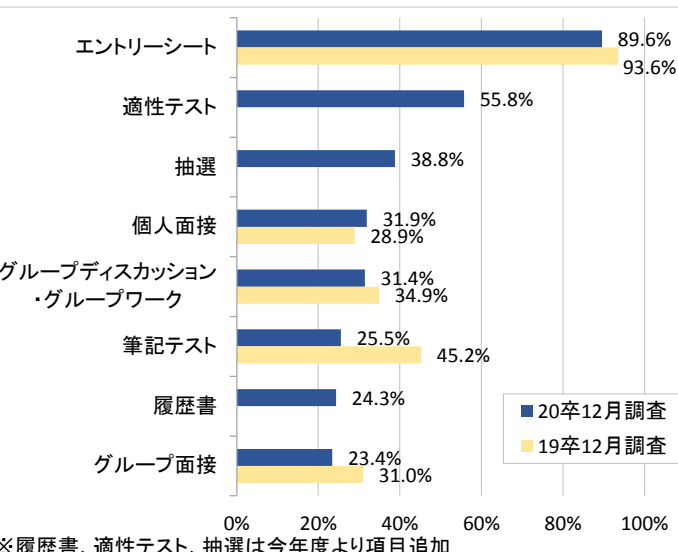
参加の理由は「就職活動に有利だと思った」（57.3%）、「志望業界だった」（50.6%）の2項目が過半数を超えている。参加しなかった学生は23.9%と少数派となりつつある。不参加理由のトップは「日程が合わなかった」（67.2%）だったことから、日程さえ合えばインターンシップ参加者数はもっと増えている可能性もある。それだけインターンシップが浸透していると言えそうだ。

インターンシップ選考

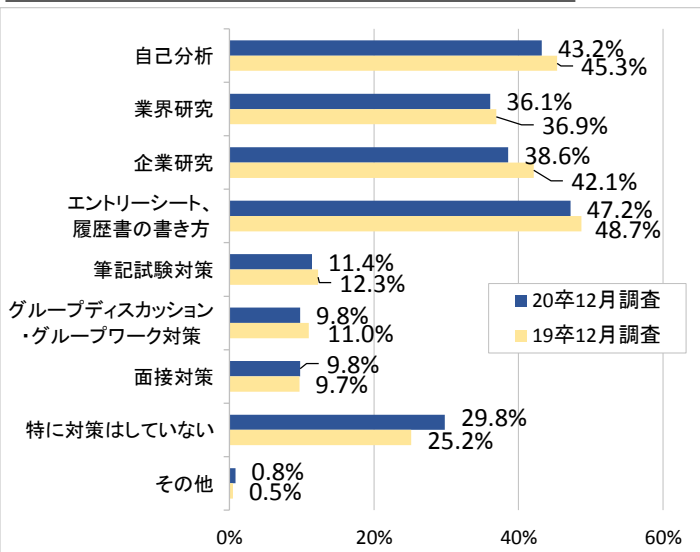
◆インターンシップ参加のための選考は経験しましたか？



◆それはどのような選考でしたか？（複数回答）



◆選考のためにどのような対策を行いましたか？（複数回答）

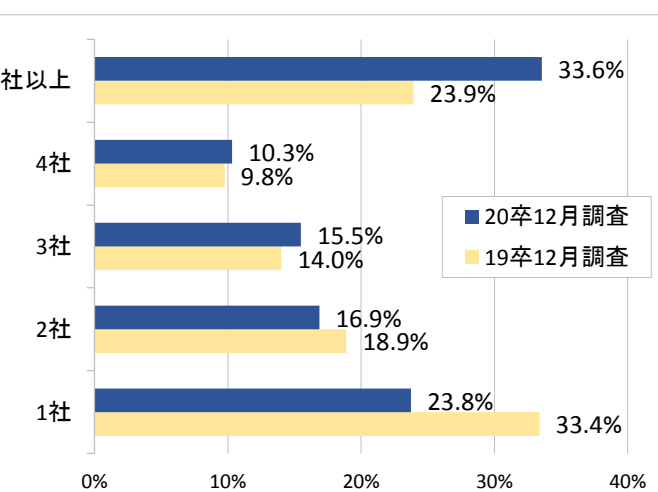


インターンシップ参加の選考経験者は66.7%。選考内容は「エントリーシート」が9割。

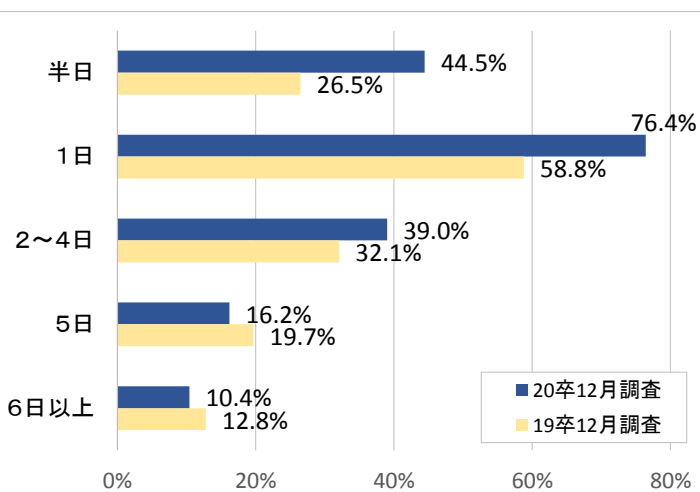
インターンシップ参加のための選考は66.7%が「経験した（予定含む）」と回答。選考の内容は「エントリーシート」が89.6%とトップ。次いで「適性テスト」（55.8%）、「抽選」（38.8%）となった。選考対策では「エントリーシート、履歴書の書き方」（47.2%）、「自己分析」（43.2%）が4割を超えた。

インターンシップ参加社数、参加日数

◆インターンシップには何社参加しましたか？



◆インターンシップの参加日数を教えてください

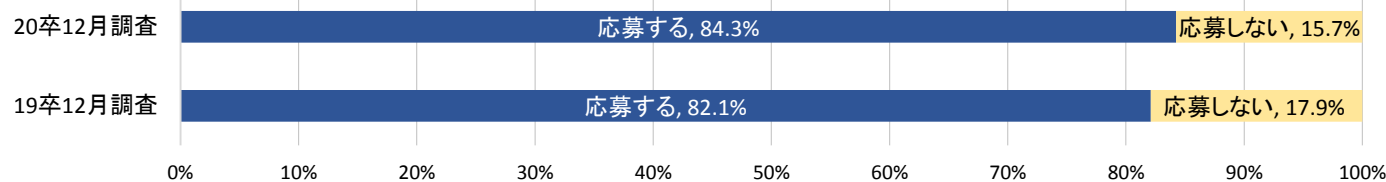


平均参加社数は3.13社、複数回参加者が76.3%で7割を超える。

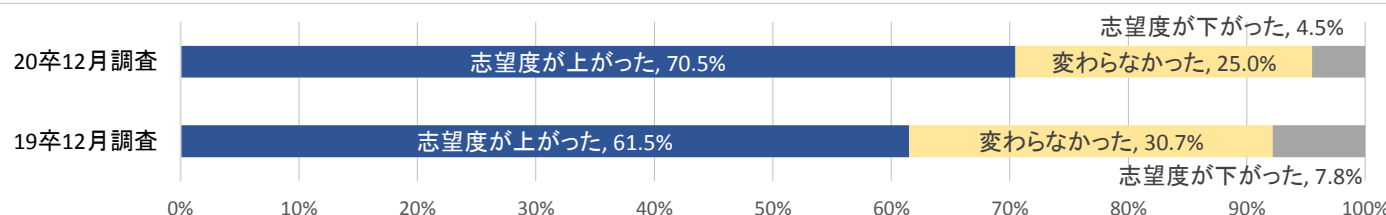
インターンシップへの参加社数は、1位が「5社以上」（33.6%）、2位が「1社」（23.8%）と、前年と結果が逆転した。参加日数を見てみると、「1日」が76.4%と最も多く、次いで「半日」が44.5%で次点につけている。「2～4日」は39.0%と前年より6.9ポイント伸ばしており、短期での開催が増えたことが、参加社数に影響していると思われる。

就職活動観

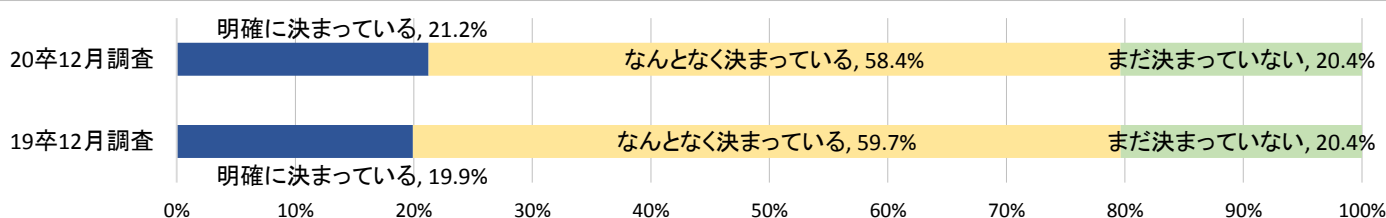
◆インターンシップに参加した企業の採用募集に応募しようと思いますか？



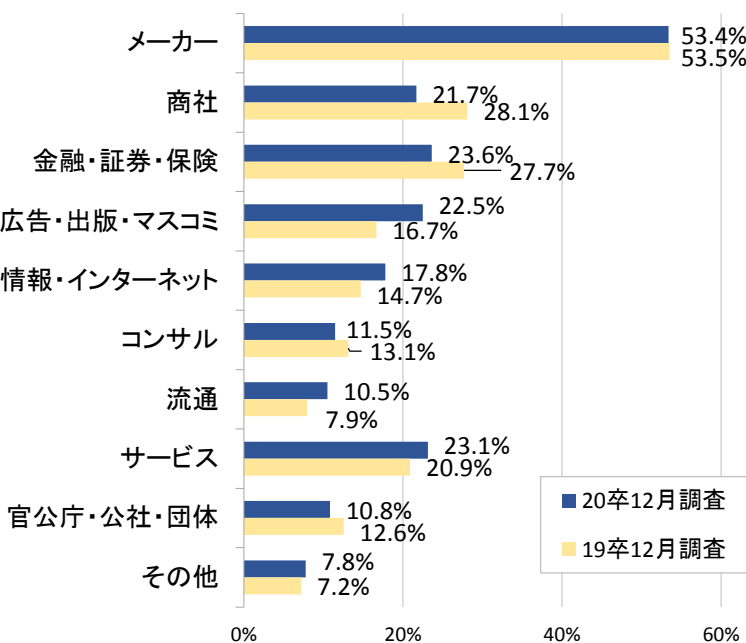
◆インターンシップに参加した企業の志望度に変化はありましたか？



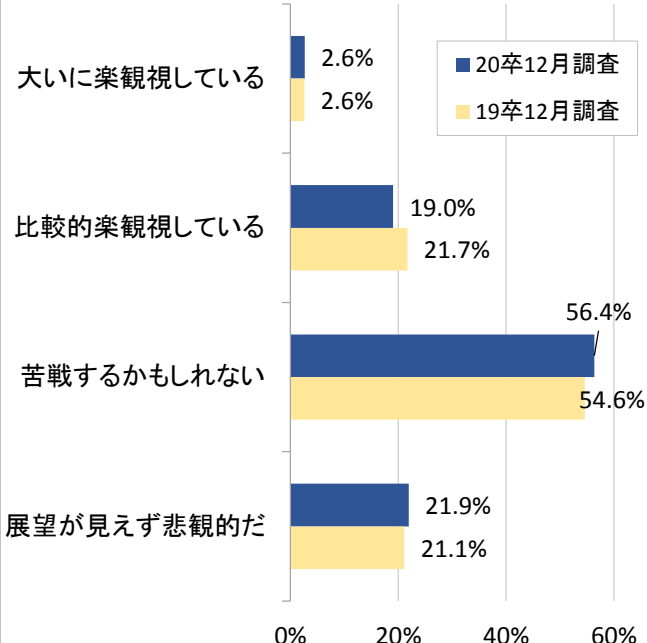
◆志望業界は決定していますか？



◆現時点での志望業界を教えてください。 (複数回答、3つまで)



◆就職活動に向けて、現在の考えに近いものをお答えください。



「インターンシップに参加した企業へ応募する」と答えたのは84.3%。
8割が、志望業界について「明確に決まっている」「なんとなく決まっている」と回答。

インターンシップに参加した企業の採用募集に「応募する」と答えたのは84.3%と8割を超えた。インターンシップに参加して「志望度が上がった」との回答も70.5%となった。志望業界について「明確に決まっている」（21.2%）、「なんとなく決まっている」（58.4%）を合わせると8割近くになり、志望先選定の材料としてインターンシップの重要性はより高まっているようだ。

ただ、就職活動については「苦戦するかもしれない」（56.4%）、「展望が見えず悲観的」（21.9%）となり、志望は固めつつも楽観視せず慎重に考えている人が多数派の様子だ。